
聖眼の魔術師

ギルバート

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聖眼の魔術師

【Nコード】

N5873Z

【作者名】

ギルバート

【あらすじ】

1つの学園から物語は始まった。

魔術師、魔法使いが普通とかし、獣人、人外が当たり前にいる世界。

更新は気分で行います。

prologue

500年前そこから物語は始まった

人界・天界・魔界の三つが争い戦った

三界大戦

それにより世界は一度崩壊し、ひとつの世界となった。

三つの世界が混ざり、すべてが変わった。

魔法使い、魔術師、巫女

獣人、天使、人外

そんな者達が、住む世界となった。

幾年を越えて世界は安定の方向へむかっていった。

もう二度と三界大戦をおこさないためにも、さまざまな協定が結ばれた。

そして500年後の今、1つの学園から物語は始まった。

ファルバーレ魔法学園、物語の幕は開かれた

第1話

桜舞う坂道。

そこには多くの歓喜と笑顔で溢れかえっていた。

坂を登りきった先には大きなアーチ。

そのモニターに映しだれている『新入生歓迎』等の文字。

アーチをくぐるとそこに待っている巨大な建物。

『ファルバーレ魔法学園』

多くの人は希望と期待と不安を胸に学園に入ってしまった。

そんな光景を学園の屋上から冷たく、それでいて寂しそうに見ている少年がいた。

青髪、碧眼の少年の名は『ジーク・ロイデン』

今年からこの学園に転校生としてやってきた。

ジークはフェンスに身体を預けると空を見上げた。

一羽の鳥が飛んでいた。

不意に屋上の扉が開かれた。

「ん？珍しい、先客がいる。」

現れたのは赤髪の女性。スレンダーな女性は微笑みながらジークに語りかけた。

「この時間にいるなんて物好きね。」

女性はジークの隣に座った。

「あんたは？」

ジークは警戒しつつも訪ねた。

「私？私は『ミリー・』。君と同じ一人になりただけ。君は？」

「ジーク」

ジークはそれ以上問いかける訳でもなくただ時間が過ぎるのを待った。

ーゴーンゴーンー

学園の中心にある時計塔が9時を指した。

「いいの？入学式始まるよ？私は元から行くきなかったけど。」

「いいんだ。興味なんてなかったしな。」

それで、そこにいるお前はなんなんだ？」

ジークが振りかえった先にいたのは緑色の髪をした女性。

「いけないあゝ。入学式からサボるのは」

「あんたには言われたくないな」

「にやはは、そりゃそうか！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5873z/>

聖眼の魔術師

2011年12月20日19時27分発行